演習 II

科目ナンバリング　SEM-302
必修　　2単位

野澤　丈二

1. 授業の概要（ねらい）

この演習では「食」を主なテーマとして扱います。和食の無形文化遺産登録、増加する訪日外国人旅行者への対応、農林水産政策の見直し、食品偽装（あるいは異物の混入）、食品廃棄物の問題など、食に対する関心は近年ますます高まっています。

人文社会系のさまざまな分野（経済学、歴史学、社会学、文化人類学、哲学など）で領域横断的に広く扱われている「食」について考えながら、現代の社会が直面するさまざまな問題（グローバル化、環境、貧困、格差、アイデンティティなど）について検討します。

この演習では、新聞などで扱われる時事的な話題をひとつの手がかりとしながら、歴史的な視点をとりわけ重視します。

2. 授業の到達目標

人間にとって欠かすことのできない営みである「食」について理解を深める。
関心のあるテーマを見付け、「考える」「調べる」「伝える」という能力を養う。

3. 成績評価の方法および基準

出席状況、討論への積極的な参加、レポートの作成・提出、プレゼンテーションなどに基づいて、総合的に評価する。
毎回の出席を前提とします。特に理由のない遅刻は欠席とみなし、無断の欠席4回以上で評価の対象外とする。

4. 教科書・参考文献

教科書
初回に参加者の関心を聞いたうえでテキストを決める。参考文献は進行に合わせて紹介する。

5. 準備学修の内容

各回の報告者は、テキストの内容紹介・討論の論点、課題について調べた内容の紹介・論点をプレゼンテーション出来るように準備すること。それ以外の学生は、テキストの該当箇所を読み、質問を考えておくこと。

6. その他履修上の注意事項

素朴な疑問や関心を大切にしてください。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション
【第2回】　文献の輪読①
【第3回】　文献の輪読②
【第4回】　文献の輪読③
【第5回】　文献の輪読④
【第6回】　文献の輪読⑤
【第7回】　メリックでの実習①
【第8回】　メリックでの実習②
【第9回】　グループ発表①
【第10回】　グループ発表②
【第11回】　グループ発表③
【第12回】　メリックでの実習③
【第13回】　個人発表①
【第14回】　個人発表②
【第15回】　個人発表③